

「青森のグローバル化に向けての 課題設定とその解決策を考える

— 青森の『グローバル化』と『ローカル化』の 共存・共栄を目指して提言する —

現代社会は、グローバル化時代を迎え、また、「中央集権化から地方分権化」への移行時代を迎えて、本州の最北端に位置する青い森「青森の未来」をいかにデザインし、いかにアクションプランを作成し、実行するかが、青森の喫緊の課題である。私たちは、この激しい変化の時代を「新しい青森を創造する良きチャンスの到来」と理解し、過去2回「青森の未来をデザインする」を統一テーマに、「提言的公開講座」を行ってきた。

本公開講座では、過去2回の公開講座を踏まえた最終回として、「新時代の青森の創造に向けての課題設定とその解決策を考える—青森のグローバル化とローカル化の共存・共栄を目指して—」を統一テーマとした。多数の皆様のご参加を期待している。

<p>[第1回] 9/30(火)</p>	<p>青森の教育のグローバル化に向けての課題設定とその解決策を考える —青森のグローバル人材育成に向けての提言— 講師：青森公立大学教授 内海 隆</p>
<p>[第2回] 10/7(火)</p>	<p>青森の貿易のグローバル化に向けての課題設定とその解決策を考える —青森の貿易のグローバル化に向けての提言— 講師：日本貿易振興機構・青森貿易情報センター所長 奥 貴史</p>
<p>[第3回] 10/14(火)</p>	<p>青森の観光のグローバル化に向けての課題設定とその解決策を考える —青森の観光のグローバル化に向けての提言— 講師：青森公立大学教授・札幌学院大学名誉教授 藤永 弘</p>
<p>[第4回] 10/21(火)</p>	<p>青森の農業のグローバル化に向けての課題設定と解決策を考える —青森の農業のグローバル化に向けての提言— 講師：青森公立大学教授 河野 秀孝</p>
<p>[第5回] 10/28(火)</p>	<p>青森の産業のグローバル化に向けての課題設定とその解決策を考える —青森の産業のグローバル化に向けての提言— 講師：東京都市大学教授 井上 隆一郎</p>
<p>[第6回] 11/18(火)</p>	<p>青森の自治体のグローバル化の課題設定とその解決策を考える —青森の自治体のグローバル化に向けての提言— 講師：青森公立大学教授 遠藤 哲哉</p>

いずれの回も

[時間] 18時30分～20時30分 [場所] アウガ5階 青森市男女共同参画プラザ研修室

[対象] 一般社会人、学部大学生、大学院生、高校生 [定員] 各回50名(先着順)

申込方法 開催日前日(必着)までに受講を希望する演題名・開催日と、住所・氏名(ふりがな)・性別・年齢・連絡先の電話番号を明記し、郵送、FAXまたはE-mailでお申し込みください。

青森公立大学地域研究センター公開講座係

[郵送先] 〒030-0196 青森市大字合子沢字山崎153番地4

[FAX送信先] 017-764-1564

[E-mailアドレス] kouza@bb.nebuta.ac.jp

受講料
無料

まちなか
キャンパス



※おおもりに県民
カレッジ単位認
定講座。各2単
位(計6回)

[主催] 青森公立大学 [URL] <http://www.nebuta.ac.jp/>

[TEL] 017-764-1561 (受付時間: 8:30～16:30) ・ 017-718-7025 (受付時間: 16:30～21:00)

[後援] 青森商工会議所 [URL] <http://www.acci.or.jp/>

育のグローバ
課題

業のグローバル人

講師：青森公

本連合会は、2011年
として産官学に
育再生実行会議は
ル人材育成を重
した。これら
「一」に掲げ
化と多様化)

光のグロー
課題

業の観光のク

立大学教授・札

ローバル化時
してさらなる
美しい四季の
など世界に
として世界に
森県の素晴ら
青森の観光立

05

10.28(火)
18:30~20:30

06

11.18(火)
18:30~20:30

青森の産業に向けた提言

講師：東京都市大学教授 井上 隆一郎

一般的に言って青森の産業に見られる傾向は、外に打って出る姿勢の欠如である。外とは海外のみを意味するものではない。首都圏などの大都市圏市場、全国市場への展開ですら十分ではない。これはどのような要因に規定されているのであろうか。その要因を克服して、さらに不確実性、リスクを伴う海外への展開となると課題が山積しているといわなければならない。グローバル化という今日の産業が直面する普遍的な課題に対して、青森の企業が直面している問題点と課題分析を踏まえてその解決策を提言したい。

青森の自治体へのグローバル化に向けた提言

講師：青森公立大学教授 遠藤 哲哉

自然と食文化、ウィンタースポーツを始めとする雪国の持つ魅力、そこで育まれてきた祭りと生活、地域社会の中で大切に育まれてきた豊かな価値を、グローバルな視点から再評価することが大切である。グローバル化とは、異文化の良さを認め合うチャンスである。青森の良さを引き出し、自治体における経営戦略をどう進化させていくことができるか、グローバルな視点から、自治体経営の課題に切り込み、創造的に改革していくための提言をしたい。